

基本理念

これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館

基本構想

新図書館・新点字図書館・科学館(仮称)基本構想(H23.4)

基本計画

新図書館等複合施設整備基本計画(H23.7)

令和7年度第2回オーテピア高知図書館サービス計画推進委員会

R7.10.13作成

基本方針


1 情報提供機関として地域を支える図書館

2 県民・市民の資料要求に応え、課題解決の支援ができる図書館

3 セーフティネットの役割を果たす図書館

4 図書館利用に障害のある利用者に配慮した図書館

5 進化型図書館



◆ 両図書館の独自機能の向上

基本的な考え方

●『オーテピア高知図書館サービス計画』が2期10年を迎える中、基本理念及び基本方針を継承しつつ、図書館を取り巻く社会情勢の変化に順応するよう、具体的な取組の強化や見直しを図る。

●スマートシュリンクの施策や、人工知能等のデジタル技術の高度化・一般化などに対応したサービスについて検討し、サービスの充実を図る。

●地域の課題解決を支援する図書館として、これまで培ってきた関係機関との連携をさらに強化・発展させるとともに、取組成果の県内・市内全域への普及を図る。

第2期計画推進の状況・成果、社会等の動向

目標及び目標値(R8年度)		R 4年度 (2期初年度)	達成状況	R 6実績	達成状況	R4増減率
年間個人貸出点数	115 万点	1,103,351	95.9%	1,031,772	89.7%	93.5%
レファレンス件数	3.1万件	20,621	66.5%	19,605	63.2%	95.1%
オーテピア来館者数	100万人	839,370	83.9%	962,948	96.3%	114.7%
県民一人当たり年間貸出点数	5.2点	4.8	92.3%	4.9 (R5)	94.2%	102.1%
参考：県内人口(10.1推計)		684,049		655,698		95.86%

【主な成果】


・課題解決支援サービスの充実

・関係機関との相互協力関係の強化

・「外国人材受入・活躍推進プラン」への参画など、施策と連動した取組の促進

・課題解決支援サービスの市町村立図書館への波及

・事業継続計画(BCP)の策定 等



・全国図書館大会における活動報告・取組紹介
多文化サービス(R6)、バリアフリーサービス、防災、健康情報(R7)

・Library of the Year2025 優秀賞受賞
受賞理由:オーテピア高知図書館と高知県図書館振興計画の両輪での推進

社会環境の変化

・人口減少、人口構造の変化

・地方経済の縮小

・AI(人工知能)の高度化と普及

・外国人材の受入れ拡大

・災害の激甚化・頻発化

・物価高騰等、経済の変化 等


地域の課題

人口減少

最重要課題

・出生数の減少

・若年人口の流出



産業の担い手不足

地域経済の縮小

公的サービスの縮小等への対策

・高齢化・健康長寿対策

・南海トラフ地震対策 等

施策にかかわる動き

【国】

・著作権法の一部を改正する法律(R5改正)

・第二期読書バリアフリー基本計画(R7策定)

・書店活性化プラン 等

【県】

・高知県元気な未来創造戦略

・4Sプロジェクトの推進

・高知県読書バリアフリー計画(R7.1策定) 等

【市】

・第3期高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略(R6.3策定)

・第四次高知市子ども読書活動推進計画(R7.3策定)

・第二期「オーテピア高知声と点字の図書館サービス計画」 等

第3期で解決すべき主な課題

課題① 社会情勢や地域課題への対応

・スマートシュリンクへの対応

・どこに住んでいても、誰もが図書館サービスを受けられる取組の充実

・増加する在留外国人や外国にルーツがある方へのサービス

・デジタル技術の利活用

課題② 図書館サービスの認知度向上

・レファレンスサービスやデータベースの利用促進

・取組事例等の積極的な発信

・特に、外国人や障害のある方など、情報を届けることが難しい方へのサービスの周知

課題③ 関係機関・団体との連携強化

・在留外国人、障害者、不登校等の方を支援する機関・団体との連携の強化

・専門機関・団体や行政機関、大学等との連携・協働による、より効果的な情報発信

課題④ 情報リテラシーの向上支援

・段階に応じたプログラムの提供(電子機器類の利用方法、情報検索、情報の評価等)

・AI等に関する司書の知識・スキルの向上

課題⑤ 県市独自機能の強化【県】

・各市町村に応じたきめ細かな支援の実施

・学校図書館・学校司書をハブとした関係づくり

【市】

・分館分室、市立学校との関係強化

・市内各地区の特色を踏まえたきめ細かなサービスの提供

基本方針の強化ポイント

5つの基本方針に「3つの視点」を反映

スマートシュリンク

情報リテラシー

デジタル・AI

1 情報提供機関として地域を支える図書館

・新鮮で幅広い資料や情報の継続的な収集・提供

・ポーンデジタル資料等のデジタルコンテンツの収集や提供のあり方の検討 →課題①

・行政、専門機関等と連携した情報のワンストップ化(集約)による利便性の向上 →課題①③

2 県民・市民の資料要求に応え、課題解決の支援ができる図書館

・司書の専門性を生かしたレファレンスサービスの充実 →課題②

・課題解決支援サービスの成果の発信・共有・広報の強化 →課題②

・情報リテラシーの向上を支援するプログラムの提供 →課題④

3 セーフティネットの役割を果たす図書館

・図書館の持つ資料・場の力・連携力を組み合わせたサービスの実施・広報 →課題②③

4 図書館利用に障害のある利用者に配慮した図書館

・支援機関・団体等との連携強化によるサービスの周知 →課題②③


・施設入所者など来館が困難な方に対するサービスの充実 →課題①②③

5 進化型図書館

・電子書籍の充実とサービスの普及 →課題①

・電子機器やオンライン・サービスの活用を支援するプログラムの提供 →課題①④

・国や民間などの外部資金の活用に向けた検討



両図書館の独自機能の向上 →課題①⑤

・図書館遠隔地域や未設置町村等の利用者が取り残されないサービスの提供

・各市町村・地域の分析と地域課題やニーズに沿ったサービスの提案

・学校図書館を核とした学校連携のあり方の検討

サービス・取組の体系

1 地域を支える情報拠点機能の充実

(1)資料・情報の収集

(2)高知県関係資料の収集・保存・提供(*)

2 課題解決支援機能の充実

(1)ビジネス支援サービス

(2)健康・安心・防災情報サービス

(3)行政支援サービス

(4)情報リテラシーの向上支援(*)

3 利用者に応じた対象別の図書館サービスの充実

(1)児童サービス

(2)ティーンズサービス

(3)多文化サービス

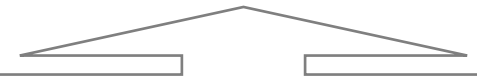
(4)図書館利用に障害がある方へのサービス

4 連携・支援及び図書館の活用

(1)市町村立図書館等への支援

(2)高知市全域サービス

(3)県立学校との連携



横断的なサービス及びサービス提供体制

・司書の専門性の向上

・レファレンスサービスの提供(*)

・サービスの普及・啓発(連携・広報)

・中心市街地活性化への寄与、周辺施設、大学等との連携(*)

・BCPの継続的な見直し

(*)は項目の移動あり

【成果指標】

サービス指標の項目、目標値は検討中

○ 総括的な指標

① 年間個人貸出点数

② 事項レファレンス件数

③ 県民一人当たりの年間貸出点数

④ 年間入館者数(オーテピア入館者数)

○ 主要な取組に関わるサービス指標